

フリーバカンス休暇、ステップ休暇



株式会社博報堂

人事局労務部
マネジメントプランニングスーパーバイザー

吉田 充志さん

企業プロフィール

- 事業内容：総合ブランディングサービス、メディアサービス、クリエイティブ、コンテンツ事業、プロモーション、イベント、e-ソリューション、コーポレート・コミュニケーション等
- 従業員数：3,043名(2012年3月現在)
- URL：<http://www.hakuhodo.co.jp>

遊びも仕事、インプットのための休暇を制定

実践！ こうすればできる！ こうすればのびる！

- ① 休暇取得者を「見える化」する
- ② 楽しい名前でも周知を図る
- ③ 普及浸透は遊び心も大事

フリーバカンス休暇

各社それぞれに休暇制度があると思いますが、博報堂らしいのがフリーバカンス休暇です。営業日に連続5日休めるもので、前後に土日を含めると9日間の休暇となります。9日休めるとなると結構いろいろなところへ行けるので、かなり重宝されています。通称「フリバカ」と呼ばれていて、私の上司も今まさにフリバカ中です。役員など責任のある立場の人でもフリバカで旅行に行きますし、社内ではかなり浸透している休暇制度です。年に2回取得できますが、仕事が忙しければ1回だけという人もいます。弊社には決まった夏休み、冬休みがないので、だいたいこの時期に取得するケースが多いですね。

広告業というのは柔軟なアタマでアイデアを練るような仕事が多いですから、エネルギーやアイデア

の素を吸収して、アタマとカラダが充電できるよう、長い期間しっかりと休める制度の必要性が高いとも言えます。

普及浸透策もクリエイティブに

まず休暇の名前がいいでしょう？ 命名者がサーフィン大好きなバカンス人間で、しっかりと休む事はとても大切だという気持ちを込めて命名したようです。休暇ではなくバカンスなんです。遊びも仕事。そんな気持ちが込められているので、フリバカは社内に自然に浸透していったのだと思います。かつてはフリバカをとっていない人が、忙しさ自慢をしていた時期もありました。最近は逆に「えっ！ 取っていないのですか」と、取得していないことのほうが恥ずかしいという風潮に変わってきました。仕事の段取りがうまくない人なんだ、と思われてしまいますから。

でも導入当初は、フリバカを普及浸透させるために、いろいろなことをやってきました。まず社内でも忙しそうに働いている人も実はちゃんと休んでいるということを見える化するために、社内報でフリバカ取得者を写真入りで紹介したり、遊び心たっぷりのフリバカ取得推奨ポスターを掲出したりと、休むことの楽しさを自然に広めていきました。

さらに、「フリバカ中」と書かれたやけに目立つデザインのマグネットを各職場に配りました。これが出先表に貼られているといやでも目に入るので、他の部署の人が出先表を何げなく見たとき、「〇〇さんはフリバカ中か。自分もとらなきゃ」と誰もが思ってしまう。なかなかいい仕組みだと思います。



ステップ休暇

ステップ休暇は、勤続10年目に10日、20年目と30年目にそれぞれに15日の休暇が取得できるもので、旅行券も支給されます。これはかなり長い休みになるので、なかなか取得するのが難しいようですね。ただその年

に利用できなくても持ち越しができるので、異動のタイミングで利用したり、2回分貯めて使うケースもあります。フリーバカンス休暇同様にステップ休暇も社内でも認知されているので、「ステップ休暇が取得できるまで、あとどのくらい(何年何ヶ月)？」という問い合わせもあります。



研究開発局 道本グループ
上席研究員
木下 陽介さん
(フリーバカンス休暇)

昨年の6月にフリーバカンス休暇を取得して、ユーロ(サッカー欧州選手権)を観戦するためにポーランドに行ってきました。実は勘違いして入社10年目のステップ休暇を取得するつもりで計画を立てていたのですが、次の年の1月1日に付与されることが発覚。とはいえどうしても行きたいので、フリーバカンス休暇に年次有給休暇を組み合わせると2週間の休みにしてしまいました。前半は妻と一緒にドイツを旅行し、後半は職場の先輩と合流してユーロ観戦となりました。私が所属する研究開発局は、年度末までに成果をまとめて2月、3月に発表するというスケジュールで仕事をしています。これらの時期はとて休むをとるような状況にはありませんが、6月や7月は個人で行う業務が多く、比較的調整しやすい時期なので、休暇を取得することができました。

上司が率先して長期休暇を取得していますから、休みにくいと感じることはありません。むしろ休みを取れないのは業務コントロールができていないと思われる

ほど、休むことが職場でポジティブに捉えられています。そうすると、自分もちゃんと仕事をコントロールして休もうという気持ちになりますね。当初、年度の中でだいたいこのあたりに休もうと計画をしていたのに、すっかり忘れていてその時期になってからフリバカが取得できていないことに気づき、フリバカの計画しなおしをすることがよくあります。年度末になってもまだフリバカがとれていないと、自分の至らなさを反省するわけです。私の場合、ついに取得できなかったことが1回だけありました。

その他のフリバカ休暇では妻の友人の結婚式に参加するため、地中海のマルタに行ったこともあります。新婚旅行のときは特別休暇とフリバカを合わせて3週間の休みを取得しました。基本的に休みを取得したら、どこか遠くに行きたくなりますね。またJリーグの熱狂的サポーターでもあるので、フリバカを利用して47都道府県を全部回りたいという野望も持っています。

VOICE